

春「ミユ」を活用しよう！

「春「ミユ」ってなんのこと？」

メディカルケアステーション(MCS)を用いた春日部市多職種「コミュニケーションツール」です。

春日部市では、地域包括ケアシステム構築のために必要な医療・介護連携を、MCSというツールを使い、情報共有化の試みが開始されている。今回、春進センターでは、春日部市内12カ所の訪問看護ステーションにご説明し、同事業所ネットワークの構築を進めている。ただし、MCS採用については、各訪問看護ステーション独自の判断ではなく、所属する法人や、本部などの判断に委ねられるとの返答が多かった。2025年まであと7年。すぐ目の前にきている。ルールを遵守した情報の共有化が求められている。



4月から春進センターで勤務しています！これからも皆様に、ご指導頂きながら頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。
正面右：竹花郁子 左：安杖寛人

進先生 & 春ナースのちよこつと講座 一病気の理解— NO.5

熱中症患者のおよそ半数は高齢者(65歳以上)。なぜ高齢者が多いの？



- 高齢者の特徴として
- ①体内の水分が不足がち
 - ②暑さへの感覚機能低下
 - ③暑さへの体の調節機能低下(身体に熱がたまりやすい)

室内でも多く発生！

子どもの発生率も高い！

- #### 熱中症予防
- 1、喉が渇かなくても水分補給
 - 2、温湿度計で測ってエアコンこまめな調整
 - 3、1日1回汗かく運動して体温調節能力の改善

【介護者の注意ポイント】
体調の確認、活気、食欲、熱、脇の下や口腔の乾燥具合等や、居住環境、自宅での過ごし方、室温、換気、日当たり等の調整が必要。
*環境省のホームページに、詳しく載ってます。

春しん

第7回春コン開催

在宅複合施設 孝楽園 施設長 太鼓直人氏 講演される

平成30年5月23日に、「第7回春日部市医療介護連携研修・交流会(春コン)」が行われた。当日は、孝楽園施設長 太鼓直人氏による講演が行われた。講演テーマは、「今改定における医療介護連携について」改定の概要とリハ専門職と介護サービス事業所との連携について。

平成30年4月の診療報酬・介護報酬改定を受けての講演内容であった。参加者にとっては、かなり興味深い内容の講演になったであろう。

このほか、参加者全員が、「入院医療・在宅医療・在宅介護に関する立場で、いま連携で困っていること」を春日部市の取り組みを考えるために、課題抽出！をテーマにグループワークが行われ、医師をはじめとする約299名の参加者が、活発な意見交換を行い、会場は大いに盛り上がりを見せた。

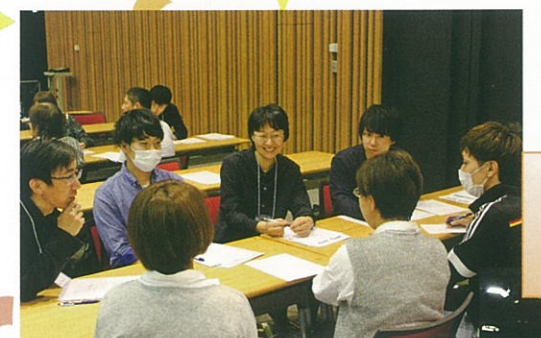


参加者299名！春日部市内の医療介護従事者で、会場は、ほぼ満席状態。今回の診療報酬改定により、医療職も介護職も地域包括ケア構築への高い関心が伺える。



講演者：孝楽園・施設長 太鼓直人氏

2018年(平成30年) 第5号誌 春夏号
平成30年7月発行
【発行元】
春日部市地域包括ケアシステム推進センター(春進センター)
春日部市在宅サービス多職種連絡協議会(春宅会)



グループワークは和気あいあいと(^^♪



笑顔で、話も弾みます。

初めての参加であっても初めて会った人でも、楽しく有意義な機会に！

春日部市の地域性って何かな？どんなところが求められていて、のさばらうか？春しんを作りたいから考えてみました。初めて作成した春しん。初めは次回も頑張ります。

編集後記

話すことで分かり合える！共感が生まれる！お互いが助け合える！

第7回 春コン・アンケート結果

今、連携で困っていることは何？

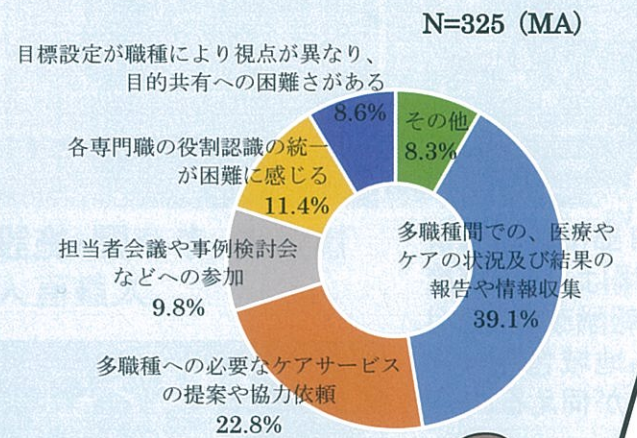
「2025年問題」団塊世代が75歳を迎え、医療・介護のニーズ増大と医療従事者の確保困難という危機を迎える。このため国は、医療と介護の一体的な改革として、診療報酬改定や、医療介護総合確保推進法などの取り組みを行っている。今年4月に、2025年を目指して行われた、平成30年度診療報酬・介護報酬同時改定では、医師とケアマネジャーの連携がさらに深まるものと思われる。また、当日の研修・交流会には、春日部市内に勤務される医療・介護従事者等、参加者299名が、情報交換会に参加し、地域包括ケアシステムの構築に向けて、春日部市の取り組みを考えるための課題抽出についてグループディスカッションを行った。

アンケートの結果、約6割の方が多職種との連携で困難とされていることは、情報交換・報告・提案・協力依頼などであると答えた。

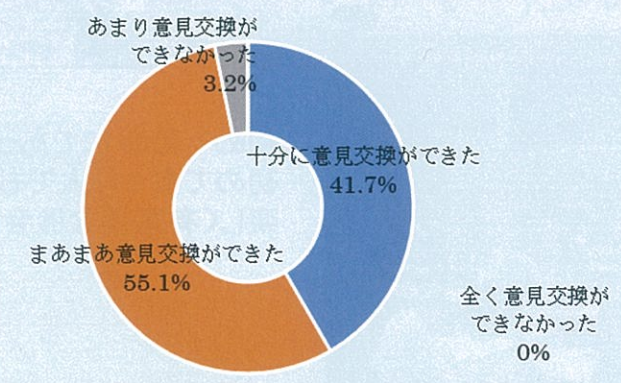
話そう！語ろう！お互いを知ろう！
そこからつながる、地域で作り上げる
春日部市の地域包括ケアシステム！

今回の情報交換テーマ「入院医療・在宅医療・在宅介護に関わる立場で、今連携で困っていること」～春日部市の取り組みを考えるために、課題抽出！～に参加し、多職種と意見交換した中で、多職種連携のどの部分に困難さを感じ、課題を見出しましたか？

| | |
|-------------------------------|------|
| 多職種間での、医療やケアの状況及び結果の報告や情報収集 | 127人 |
| 多職種への必要なケアサービスの提案や協力依頼 | 74人 |
| 担当者会議や事例検討会などへの参加 | 32人 |
| 各専門職の役割認識の統一が困難に感じる | 37人 |
| 目標設定が職種により視点が異なり、目的共有への困難さがある | 28人 |
| その他 | 27人 |
| 合計 | 325人 |



今回のグループワークでは、十分に意見交換が出来ましたか。



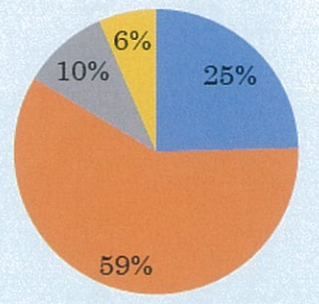
第6回春日部市介護事業部門連携研修・交流会

春日部市では、介護事業所の専門職を対象に、地域包括ケアシステムの構築を目的とした研修・交流会を継続的に開催しており、平成30年2月16日（金）東部地域振興ふれあい拠点施設「ふれあいキューブ」にて、第6回春コン・ケアが行われた。

当日は、「事例を検討して、交流と知識を深めよう」ミニレクチャー付きという研修テーマにて、講師に武里病院・精神保健福祉士 小平敦之氏と、薬樹薬局・管理栄養士 小島細香氏をお迎えし、有意義な研修・交流会が行われた。



「事例を検討して、交流と知識を深めよう」はいかがでしたか？



- ① 十分に意見交換ができた。
- ② まあまあ意見交換ができた。
- ③ あまり意見交換ができなかった。
- ④ 意見交換ができなかった。

今後、どのようなミニレクチャーを受けると、日頃の業務に役立ちますか。

| | | | |
|-------------|-----|-----------------|-----|
| 一般的な疾患 | 9人 | 難病について | 11人 |
| 精神疾患について | 31人 | 薬剤の知識 | 8人 |
| 歯科（口腔ケア） | 6人 | 看取り（終末期について） | 18人 |
| 摂食嚥下について | 7人 | 在宅における看護の知識と技術 | 6人 |
| 介護職の医療行為 | 10人 | リハビリテーションの知識と技術 | 10人 |
| 医療介護の制度について | 13人 | 権利擁護について | 14人 |
| その他 | 3人 | | |

今回のアンケートでは今後のミニレクチャーに関しては精神科疾患の希望が多かった

春宅会

春宅会に新しく委員選出されました3名の皆様をご紹介します

- 在宅訪問歯科 河田 正江 氏 まさえ歯科クリニック
- 看護部会代表 吉川 孝子 氏 春日部市立医療センター
- 訪問看護代表 千葉 妙子 氏 春日部医師会立訪問看護ステーション 藤

平成29年度下半期 春宅会協議内容



- 春日部市医療介護職連携研修・交流会及び、春日部市介護事業部門連携研修・交流会の企画・開催
- 春日部市健康フェアでの市民向け啓発活動の企画・開催
- 地域ケア会議での事例から問題提起と問題解決に向けた審議
- 診療報酬及び介護報酬改定に伴う連携について
- 事業部門別研修・交流会の企画・開催
- 在宅医療介護啓発誌第4号誌の作成について
- 訪問看護部会及び看護部会の立ち上げについて
- 平成30年度在宅療養支援ベッド提供体制について
- 各団体からの連絡・提案及び活動報告